



第52号 平成6年8月1日
発行 群馬県山岳連盟
〒371 前橋市大手町1丁目1-1
群馬県庁観光物産課内
TEL (0272) 23-1111 内線 3151
編集 群馬岳連編集委員会
責任者 羽野順一
印刷所 森田印刷

岳連理事長

就任にあたり



理事長 八木原 園明

このたび田中成幸前理事長十年間のあとを受けて、理事長という重責を担わせて頂くことになりました。

大上段に振りかぶって突進するつもりはありませんが、会員の皆さんや関係団体の協力を得て、五十余年の歴史をもつ当岳連や登山界の発展のために微力を尽くして参りたいと思います。

基本的にはこれまでの活動の踏襲・推進して行くことになると思いますが、就任に当たり、私なりに感じていること、考えていること、実現させたいことなどの抱負の一端を述べさせていただきます。

（現在は三十二会）を増やすことも大切だと思います。容易でない時代であることは十二分に承知はしておりますが……

数が増えてはいいにしても、数が力になることも事実です。これまでに無かった新しい考え方が示されたり、活動が始まる可能性もあります。そして裾の広い、大きな三角の上にこそ精鋭も育つはずだと思います。

役員、理事は会議の中でもっともっと気軽に、また積極的に発言して欲しいと思います。忙しい中、また群馬県体育協会の一員であり、県体協は日本体育協会の一員でもあります。

そしてその前に、何と言っても「登山」という分野を通して、前記のものを「社会」の中での存在でもあります。岳連を取り巻く社会と関わりを持たずに活動することはできません。

身近な例では数多く続けてきたヒマラヤ登山では、たくさんの方の協力を得て実行されてきました。また山登りと言っても、岳連としての立場や意見はつきり来ると思っています。例えば遭難や地元の谷川岳連としての谷川岳に関すること、元岳連としての谷川岳に関すること、谷川岳遭難防止条例について、谷川岳連に代表されるような自然環境保護の問題など、特に群馬と関りの深いものもあります。

岳連として意見や意思が統一されれば良いのですが、事柄によってはそれは行かない場合もあるかも知れません。

そういった事柄にも対応できるように、時折内部で意見を出し合っておく必要があるように思います。問題が大きすぎる、難しい問題だ、面倒だとばかりにいつまでも避けてばかりはいられない時が来るように思います。

岳連としてやるべきこと、やりたいことはたくさんありますが、大きな夢としては、大分前から話題として出ていた、「谷川岳の麓に登山研修所が欲しい」ということです。

中高年は別にして、登山人口が減ってきていると言われる今こそ、登ることにやる達成感、満足感、味わう、といったようなことを出来ればと思う。いかがでしょうか？

中・上級者にはより本格的登山への知識・技術を修得し、安全で楽しい登山の実践と自分の力で歩き、登ることによる達成感、満足感、味わう、といったようなことを出来ればと思う。いかがでしょうか？

川岳登山指導センター前で止めてしま、車を入れさせない。あるいは全く逆に一ノ倉沢合まで現在の舗装道路をもっと伸ばし、幽ノ沢出合を経て下の湯倉川を廻る、一方通行の回避コースにしよう、といったこともある。これらのことを実現させるには大変な熱意と努力が必要になるとは思うが、単に群馬岳連だけの夢や目標ということでなく、広く登山界、登山者と呼ばれる一層に声を上げ、行動して行く必要がある、それによってこそ可能になると思う。

その他細かい岳連活動の実践の上で思うこと、感じていることはあるが、それらについては理事会等で提案して行きたい。

イヤなこと聞きづらいことも時には申し上げることになるかとも思いますが、ダメなことダメと欲して欲しいと思います。何にしても会員全員が色々な面で参加しての活動が望ましいことです。多くの意見を岳連に寄せて下さい。

皆さんでより良い岳連にして、楽しんで登山をしましょう。

（現在）は三十二会を増やすことも大切だと思います。容易でない時代であることは十二分に承知はしておりますが……

数が増えてはいいにしても、数が力になることも事実です。これまでに無かった新しい考え方が示されたり、活動が始まる可能性もあります。そして裾の広い、大きな三角の上にこそ精鋭も育つはずだと思います。

役員、理事は会議の中でもっともっと気軽に、また積極的に発言して欲しいと思います。忙しい中、また群馬県体育協会の一員であり、県体協は日本体育協会の一員でもあります。

そしてその前に、何と言っても「登山」という分野を通して、前記のものを「社会」の中での存在でもあります。岳連を取り巻く社会と関わりを持たずに活動することはできません。

身近な例では数多く続けてきたヒマラヤ登山では、たくさんの方の協力を得て実行されてきました。また山登りと言っても、岳連としての立場や意見はつきり来ると思っています。例えば遭難や地元の谷川岳連としての谷川岳に関すること、元岳連としての谷川岳に関すること、谷川岳遭難防止条例について、谷川岳連に代表されるような自然環境保護の問題など、特に群馬と関りの深いものもあります。

岳連として意見や意思が統一されれば良いのですが、事柄によってはそれは行かない場合もあるかも知れません。

そういった事柄にも対応できるように、時折内部で意見を出し合っておく必要があるように思います。問題が大きすぎる、難しい問題だ、面倒だとばかりにいつまでも避けてばかりはいられない時が来るように思います。

岳連としてやるべきこと、やりたいことはたくさんありますが、大きな夢としては、大分前から話題として出ていた、「谷川岳の麓に登山研修所が欲しい」ということです。

中高年は別にして、登山人口が減ってきていると言われる今こそ、登ることにやる達成感、満足感、味わう、といったようなことを出来ればと思う。いかがでしょうか？

中・上級者にはより本格的登山への知識・技術を修得し、安全で楽しい登山の実践と自分の力で歩き、登ることによる達成感、満足感、味わう、といったようなことを出来ればと思う。いかがでしょうか？

川岳登山指導センター前で止めてしま、車を入れさせない。あるいは全く逆に一ノ倉沢合まで現在の舗装道路をもっと伸ばし、幽ノ沢出合を経て下の湯倉川を廻る、一方通行の回避コースにしよう、といったこともある。これらのことを実現させるには大変な熱意と努力が必要になるとは思うが、単に群馬岳連だけの夢や目標ということでなく、広く登山界、登山者と呼ばれる一層に声を上げ、行動して行く必要がある、それによってこそ可能になると思う。

その他細かい岳連活動の実践の上で思うこと、感じていることはあるが、それらについては理事会等で提案して行きたい。

イヤなこと聞きづらいことも時には申し上げることになるかとも思いますが、ダメなことダメと欲して欲しいと思います。何にしても会員全員が色々な面で参加しての活動が望ましいことです。多くの意見を岳連に寄せて下さい。

皆さんでより良い岳連にして、楽しんで登山をしましょう。

平成六年度群馬県山岳連盟

総会（理事会）報告

新副会長に田中成幸、富山 真、

悴田正也の三氏が決定。

新理事長には八木原罔明氏

群馬県山岳連盟平成六年度定期種、第二種指導員資格取得講習会、会長については総会で決定されず、総会が去る平成六年六月十二日 日体協C級スポーツ指導員資格移 七月の理事会で協議され、総会に（日）十四時三十分より、群馬県 行講習会、中・高年安全登山ガイド かわる文書での総会文書会議を行 民会館五階第六、七会議室に於いて、副会長と 岳連の大イベントであるサガルマー して御指導をいただいた中島喜代

当日は中曾根弘文顧問の出席もあり、各岳連加盟団体から多数の 成功。国体部では日山協等の国体 関係会議、研修会、県予選会、第 井副会長と田中前理事長が副会長 六月の理事会に引きつづき、定 四十八回国体等。自然保護部は自 開きゴミ持ち帰り、日山協自然保 連登山部）の二氏が副会長に推選

はじめに女屋事務局長の司会で 田中理事長の開会あいさつ、中曾 根弘文顧問のあいさつ、会長に代つ レンダーの作成、販売。その他の 活動報告がある。 その後富山会計担当より平成五 年度収支決算報告がありいずれも 承認される。

第一号議案である平成五年度事 業報告を女屋事務部長から報告さ れる。内容については総務部の日 山協、関東地区会議、第四回山田 局長、富山会計担当理事からあり 理事会の報告です。

昇杯、県民登山、等の報告。編集 いずれも承認される。 規約の一部改正「観光課」を ている懇親会が県民会館内で開催 遭難救助研修会。指導部では、指 引きつづいて役員改選に入る。 副 会長は星野会長が再選され、副

平成6・7年度 群馬県山岳連盟役員名簿

役 職	1	2	3	4	5
会 長	星野 光（沼田）				
副 会 長	石井謙一郎（伊勢崎）	田中 成幸（登高会）	富山 真（太田）	悴田 正也（高体連）	
理 事 長	八木原罔明（ミヤマ）				
副 理 事 長	高田 政美（登高会）	松永 幸雄（沼田）			
専 門 部	常任理事	理事1	理事2	理事3	理事4
総 務 部	女屋 等志（ミヤマ）	水野金太郎（沼田）	千明 政彦（ミヤマ）		
編 集 部	羽野 順一（境）	岡安 茂能（高体連）	田島 忠夫（伊勢崎）	寺田 勉（太田）	
遭難対策部	西山 年秋（沼田）	新井 邦光（高崎）	加藤 藤夫（富士重工）	清水 裕千（むすび）	
登山指導部	阿部 源（大間々）	清水 人志（ミヤマ）	高橋 守男（高体連）	柳沢 章（沼田）	
海外登山部	名塚 秀二（前橋）	佐藤 光由（ミヤマ）	後藤 文明（境）	宮崎 勉（ミヤマ）	
国 体 部	町田 幸男（太田）	大山 洋次（境）	角田二三男（高体連）	茂木 稔（独峰）	松田 龍彦（前橋）
自然保護部	笠原伊勢男（前橋）	寺内 正明（前高OB）	中嶋登良次（中高年）		
事 業 部	須田 栄一（むすび）	長谷川 勇（中之条）	堀越 利通（登高会）		
特 別 会 員	小澤 貞夫（観光物産課長）	丸山 基紀（スポーツ振興課長）			
監 事	北村 登男（沖電気）	堀口 貞夫（松井田）			
事 務 局	女屋 等志（ミヤマ）	千明 政彦（ミヤマ）			
理 事	桑原 正昭（吾妻）	滝田 純作（安中）	塩田 政一（片品）	下平 昌弘（倉 測）	池澤 常平（青 空）
	永井 伸之（岳 想）	湯浅 仁司（信越化学）	菅野 徹（高崎経済大）	八木橋長平（館 林）	木村 正巴（松井田）
	丸山 巖夫（中之岳）	地野 三郎（新 治）	岩井 茂雄（三菱電機）	星野 龍史（ミヤマ）	中嶋喜代志（水 上）

平成六年度県岳連 遭難救助隊名簿

役 員	隊 員
総 隊 長	西山年秋（沼田）
副 隊 長	新井邦光（高崎）
小 委 員	茂木 稔（独峯）
	小暮文彦（境）
	町田幸男（太田）
	清水裕千（むすび）
	柳沢 章（沼田）
岳連遭難対策部	
常任理事	西山年秋（沼田）
理事	松永幸雄（沼田）
	新井邦光（高崎）
	加藤藤夫（富士重工）
	伊藤雅之（独峯）
	後藤 満（〇）
	木村正己（松井田）
	結城雅則（登高会）
	神戸 誠（ミヤマ）
	大山洋次（境）
	江塚進介（伊勢崎）
救助隊年間行事予定	
三月三十日	結団式
四月十七日	装備点検西山宅
五月二十九日	谷川岳雪上訓練
七月 三日	谷川岳岩場訓練
九月 四日	谷川岳岩場訓練
十二月二十一日	冬山検討会
七月 一月十八日	冬山報告会
三月 五日	谷川岳雪上訓練
お 知 ら せ	
群馬県山岳連、池澤常平氏が 県岳連「参予会」に入会しました。 〒377 渋川市金井一五七七 TEL. 〇二七九一三三一一	

平成 5 年度収支決算（収入の部）

平成 5 年度収支決算（支出の部）

科 目	予 算 額	補 正	収入済額	付 記
会 費	584,000	△117,406	466,594	会費 13,000円×27団体=350,794円 登録料 200円×404人=80,800円 参与会費 5,000円×7人=35,000円
未収金	104,000	△104,000	0	
交付金 補助金	4,660,000	67,040	4,727,440	群馬県補助金 400,000円 県体協補助金 27,000円 国体強化費等 1,144,440円 国体関プロ大会運営費 委託金 2,156,000円 中高年者安全登山ガイド ブック作成委託金 1,000,000円
繰入金	500,000	260,000	760,000	カレンダー収入（5年度）
寄付金	5,000	△ 5,000	0	
繰越金	440,334	0	440,334	
雑収入	40,266	8,253	48,519	保険還付金 37,760円 利息 759円 その他 10,000円
合 計	6,334,000	108,887	6,442,887	

（国体強化費等）

- 1 選手強化費補助金 793,000円
 - 2 県予選会補助金 45,000円
 - 3 関東地区大会派遣費補助金 237,840円
 - 4 スポーツ傷害保険料補助金 68,600円
- 計 1,144,440円

科 目	予 算 額	補 正	支出済額	付 記
事業費	5,413,400	△382,388	5,031,012	編集 159,000円 遭対 141,098円 指導 50,000円 海外 60,000円 国体強化等 1,144,440円 山田昇記念杯 250,000円 国体関プロ大会 2,156,000円 中高年者安全登山 1,000,000円 ガイドブック その他 70,474円
会議費	50,000	△ 31,760	18,240	会場使用料（総会、理事会等）
事務費	500,000	121,908	621,908	郵送料 217,900円 封筒・用紙等 68,216円 コピー消耗品 23,238円 メンテナンス 177,160円 その他事務費 58,140円 広告料（2回） 72,100円 振込手数料 5,154円
旅 費	80,000	△ 56,180	23,820	日山協理事会、総会
負担金	177,000	△ 3,000	174,000	日山協 149,000円 県体協 20,000円 関東岳連 5,000円
予備費	113,600	25,242	138,842	ワールドカップ取消料 （日山協）
合 計	6,334,000	△326,178	6,007,822	

差引 6,442,887円－6,007,822円＝435,065円・・・平成 6 年度へ繰越

平成 6 年度 群馬県山岳連盟行事一覧表

月	総務部・自然保護部	編集部	遭難対策部	登山指導部	海外登山部	国体部	事業部	その他
4	13 理事会 21 県体協理事長会議					2 日山協国体委員会 23-24 県民体育大会 2 部 山岳競技会（榛名山系）		
5	11 理事会 22 日山協総会	嶺呂第51号発行	29 隊員訓練（谷川岳）	22 雪上技術講習会 （谷川岳） 24 指導員総会（前橋市）	19 委員総会			13-15 県高 校総体 （赤城山系）
6	4 尾瀬沼ミ持ち帰り 12 理事会・総会（前橋市 県民会館）		25-26 日山協遭対研究会議 委員総会（北海道千歳市）	5 岩登り講習会（榛名山黒岩） 18-19 日山協指導員総会 （東京都）	11-12 日山協海外 委員会（広島県）		平成 7 年 カレンダー 写真締切	
7	3 谷川岳安全登山の日 13 理事会 31 尾瀬沼ミ持ち帰り		3 隊員訓練 13-14 全国山岳遭難対策 協議会（岩手県盛岡市）	10 C級スポーツ指導員移行 講習会（前橋市） 17 B級スポーツ指導員移行 講習会		22-24 関東地区大会 （千葉県君津市）		
8	10 理事会	嶺呂第52号発行		27-28 指導員研修会			印刷仕上 り 2000部	20-24 全国 高校総体 （富山県）
9	14 理事会 23-25 第33回全日本登山 大会（富山県） 26 第 8 回山田昇記念杯登山 競争大会（川場村武草山）		4 隊員訓練（谷川岳）				14 各山岳 会へ配布	
10	12 理事会 31 第18回県民登山大会 15-16 日山協自然保護委員 総会（静岡県）	嶺呂第53号発行				29-11/3 第49回国体 （愛知県奥三河山系）		
11	9 理事会			13 クライミング・フェス ティブアル（沼田市）				
12	14 理事会		21 冬山合宿検討会（前橋市）					
1	11 理事会		18 冬山合宿報告会（前橋市）					
2	8 理事会 12 日山協評議員会	嶺呂第54号発行		5 氷壁技術講習会（松木沢）	18-19 日山協海外 登山技術研究会 （東京都八王子市）			
3	8 理事会		5 隊員訓練（谷川岳）	12 雪上生活技術講習会 （谷川岳）				26-29 高体 連リーダ ー講習会

技術と信用で地域社会に貢献する

総 合 建 設 業



萬 屋 建 設 株 式 会 社

取締役会長 星 野 光

本 社 群馬県沼田市下之町880番地 TEL 0278(23)4648(代表)
支 店 東京都豊島区東池袋4-2-7 TEL 03-985-7631

伊勢崎市宮子町78街区1819-1
TEL.0270-21-8025 FAX.0270-21-8026